

平成29年度地域材利用促進セミナーの開催について

1 はじめに

近年、CLTの普及とともに公共施設や非住宅等への木材活用が注目されてきている中、大船渡管内では、この夏にオープンした木造施設「陸前高田市立図書館」の設計担当者等をお招きし、平成29年度地域材利用促進セミナーを開催しました。

図書館の設計から地域材の活用に関する講演をいただいたほか、地域の木材活用施設や県産材CLTに係る取組等について認識を深めました。

2 セミナー概要

- (1) 主催：大槌・気仙川流域森林・林業活性化センター、気仙地方林業振興協議会
(大船渡農林振興センターが協力)
- (2) 開催月日：平成29年12月15日(金)
- (3) 内容：

ア 話題提供

- ① 大槌、釜石、気仙地域の木材活用建築の紹介(大船渡農林振興センター 岩崎上席林業普及指導員)
- ② アカマツCLT製造技術の開発に向けた取組(林業技術センター 後藤主査専門研究員)

イ 基調講演

「陸前高田市立図書館 その特徴と地域産材の活用」(株)INA 新建築研究所 日野 祐氏



陸前高田市立図書館 全景・内観

3 開催状況

セミナーには、建築設計事務所や林業関係者など34名が参加し、活発な質疑応答が行われるなど、地域材の活用について注目されていることが伺えました。

県産アカマツCLTの最新情報、更に日野氏からは、図書館の設計に携わった経験を通じた木材を使う側からの視点で、「地域材を活用していく上での課題として、伐採・搬出～素材選別～製材～加工～二次加工までの流れが、一つの地域の中で組めないことや、供給が不安定な面があるため、手間がかかってしまう現状がある。川上～川下までが連携するよう、指示系統をしっかりとるコーディネーター役が必要ではないか。」といった、今後に向けた提言もいただくなど、収穫の多いセミナーとなりました。



日野氏による基調講演

4 終わりに

本セミナーは、数年前から毎年開催されており、今後も「地域材の活用促進」に様々な角度からスポットを当てながら、地元協議会等と連携して継続的に取組んでいきたいと思っております。